

としまち研会報 第110号

おいらのまち

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

町会活動も停滞・・・でも頑張ろう



としまち研の事務所のある東松下町々会でも、このコロナ禍にあって、具体的な活動への取り組みが難しくなっています。

コロナ禍の1年間で取り組んだのは、主として以下のようなものでした。

- ① 新1年生のお祝い：例年、町会員かどうかにかかわらず、新1年生と保護者を招いてお茶とケーキのお祝い会を行うのですが、集まらずにお祝いの図書カードを戸別訪問してお渡ししました。
- ② ラジオ体操：福祉部と青年部が協力して実施しました。ソーシャルディスタンス確保のため、会場となる千桜通りにテープで印をつけ、マスクなども用意。7日間で延べ700名、町会としては史上最大の大人数のラジオ体操になりました。子どもたちには、ジュースとお菓子を配りました。
- ③ ポイ捨て禁止キャンペーンの合同パトロール：女性部を中心に年間6回実施されました。
- ④ 防犯カメラ設置検討委員会：町内での犯罪発生抑止のために、防犯カメラの設置の検討と実地調査、複数の業者ヒアリング、補助金を出してくれる千代田区へのヒアリング、隣接町会との調整、防犯カメラシステム管理運用規定の作成なども行いました。2021年度は実現できそうです。
- ⑤ 町会ニュースの発行：何とか第49号から第52号までを発行しました。

以上のように例年の数分の1の活動量でしたので、町会費も予算を消化できずに余りました。

としまち研がこの町内に引っ越してくる前、つまり20年以上前からの町会の【活動方針】というのがあります。そのなかに「高齢社会のなか、町内の人々が明るく、安心して過ごせるよう福祉活動を進める。また、若い人々とも積極的にふれあい、活力ある町をつくっていく。」という項がありますが、この項をじっくり読むと町会活動を中心的に担ってきた70歳代以上の先輩の皆さんの見識がにじみでています。としまち研理事の葛西さんのご縁で、この町内にとしまち研第1号のコーポティブハウス（COMS HOUSE）に取り組むことができたことを思い起こし、私たちが町会の一員として、この苦しい時代をこそ乗り切ろうと思っています。（としまち研理事長 杉山 昇）

おいらのひとりごと【設立20周年記念・事務局リレー版】

としまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

＜関東に戻りました＞ 五十嵐 敦子

ご無沙汰しています。2006年からとしまち研事務局でお世話になった五十嵐です。夫の転勤で5年ほど京都に行っていましたが、昨年末に関東に戻ってきました。

としまち研では、密集市街地での共同建替えやマンション建替えの検討などに関わらせていただきました。住民の皆さんへのヒアリング、組合や協議会の進め方等を通じて、つながりづくりを大切に事業に取り組むという、としまち研の基本の考えとその実践について本当に多くのことを学びました。としまち研での経験を経て、「人と人が関わり合いながら暮らすためにできること」がずっと私にとってのテーマとなっています（昨年からのコロナの影響で様々な状況を抱えている方へ思いも馳せながら・・・）。

京都では、大学でエリアマネジメントの研究に関わる中で、滋賀や奈良、丹後など地方に住み奮闘されている方々との出会いもありました。そんなこともきっかけに、今回、東京から少し離れた小田原に住み始めました。どっぷりと浸かってきた関西弁が聞けないことは寂しいのですが、娘たちとの新たな生活を固めつつ、できることを模索していきたいと思っています。東京にも近くなりましたので、また皆さんにお目にかかれることを楽しみにしています！

※次号の『ひとりごと』は岩ヶ谷充さんです。お楽しみに。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第304回一木会（2021.3.4）

超高齢社会（65歳以上の人口 3,616万5千人、日本の人口1億2,328万8千人の 29.3% という現実）における介護から看取りについてまでの実情を、ケアマネージャーとして活躍しておられる横島真美さんに「認知症・独居高齢者の在宅での看取り支援～事例から考える権利擁護サービス～」というテーマでお話いただきました。

一木会のご案内をしている皆さんからの関心も高く、アメリカ、秋田、仙台などからのzoom参加もありました。



☆第305回一木会（2021.4.1）

としまち研理事で、(株)本間総合建築に勤務されている一級建築士の五十嵐一博さんに、「これからの木造建築の可能性～福岡県での設計業務を通じて～」というテーマで福岡県での認定こども園の建築のお話を伺いました。

『認定こども園いなつきれんげ幼稚園』（木造軸組工法にCLT（直行集成版）を組み合わせた木造ハイブリット構造）の設計者である(株)本間総合建築が今年3月に福岡県木造・木質化建築賞を受賞したといううれしいニュースもありました。



今後の一木会予定（会場＋オンライン）

☆5月（5月13日）【第306回一木会】 ※第二木曜日です。

テーマ：「コロナ禍の経験を未来の管理組合運営に活かす
～昨年の調査結果とその後の変化から見えてくるもの～」

ゲスト：廣田 信子 さん（一級建築士・マンション管理士）

☆6月（6月3日）【第307回一木会】

テーマ：「持続可能な宇宙開発と街づくり」

ゲスト：藤本 浩平 さん（株式会社アストロスケール –Senior GNC Engineer）

第21回としまち研通常総会 今年もオンライン併用で開催します

日 時：2021年5月27日（木）18時30分～20時30分

場 所：COMS HOUSE 2階会議室（定員10名程度まで）

オンライン（zoom）も併用します。後日URL等をご案内いたします。

議 題：①2020年度の活動・決算・監査報告、②2021年度の活動計画・

収支予算案、③役員改選 など



※懇親会はありませんが、議事終了後に参加者の皆さまで1分間スピーチを行う予定です。

正会員・賛助会員の皆さま、ぜひご参加ください。

□編集後記

GW直前に緊急事態宣言が発令され、自粛の連休となりました。家族で買い物に行こうとしたら、都内の大型商業施設は軒並み休業。昨年から利用が増えたインターネット通販は安全・便利ですが、実際に目で見て触って買い物ができない寂しさを感じています。（総務・広報部会長 五十嵐一博）

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
TEL：03-5207-6277 FAX：03-5294-7326
E-mail：info@tmk-web.com ホ-ム-ペ-ジ https://www.tmk-web.com/
Facebook：https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員56名 賛助会員31名
編集発行人 五十嵐一博
事務局担当 関 真弓 